

平成 31 年度第 2 回港区立学校図書館管理システム更新業務委託  
事業候補者選考委員会会議録

会 議 名	平成 31 年度 第 2 回港区立学校図書館管理システム更新業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	平成 31 年 4 月 17 日（水曜日）午前 10 時 00 分から 11 時 30 分まで
開 催 場 所	区役所 5 階 5 1 1 会議室
委 員	（出席者） 5 名 岩村委員、岡本委員、佐々木委員、篠崎委員、山本委員
事 務 局	学務課学校運営支援係
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 審議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）一次審査の結果について</li> <li>（2）二次審査について</li> </ol> </li> <li>3 次回の日程について</li> <li>4 その他</li> <li>5 閉会</li> </ol>
配 付 資 料	<p>[席上配付]</p> <p>資料 1 審査方法について</p> <p>資料 2 一次審査集計結果</p> <p>資料 3 - 1 事業者あて通知（通過事業者）（案）</p> <p>資料 3 - 2 事業者あて通知（落選事業者）（案）</p> <p>資料 4 二次審査について（案）</p> <p>資料 5 港区立学校図書館管理システム更新業務委託事業候補者 審査基準【二次審査】</p>

会議の結果及び主要な発言

A委員	<p><b>【開会】</b>          本日は一次選考を行い、審査通過者を決定します。</p>
事務局	<p><b>【一次審査の結果について】・・・審議事項（1）</b>          &lt;一次審査の結果を説明&gt;          合計点数は事業者Aが1728点、事業者Bが1274点でした。          各委員から評価点数を説明いただき、変更がないか確認します。</p>
B委員	<p>2社とも実績があるパッケージなのでだめということは全くないが、提案内容が具体性に欠けます。          事業者Aのほう为抓手りしている印象でした。          体制は両社ともわかりにくいけれども、Aは実績を見ても問題ないという印象でした。</p>
C委員	<p>提案書としては事業者Aのほう少しよくできていると思いました。          実績もあるし、データ移行も基本的に問題ないです。          事業者Bは安く、機能もここまで上げるというが、実績と裏付けの説明が抜けています。          また、Linuxを使っていて、今後どうしていくのか聞かなければ。          そういう少しずつの積み重ねが事業者AとBの点数差に表れたと思います。</p>
D委員	<p>提案書が学校のマニュアルに生かされるという視点で見ました。          すると実施体制、プロジェクト、データ移行が気になります。          最終的に事業者Aのほうわかりやすかったです。</p>
E委員	<p>機能はそれほど変わらないようだが、事業者Bの提案書が大雑把な記述で、もったいない気がします。          事業者Aは、例えば企画提案でハンディターミナルがどんな角度でも読み取れるという記述があり、わかりやすいです。          一方事業者Bには貸し出し中は学年更新ができないとか、心配な記述がありました。          事業者Aは担当SEに1年目の人がいるのが少し気になりました。</p>
A委員	<p>事業者Bはカスタマイズが多くそれで調整するというので、期間的に大丈夫か、区の負担が多くなりそうと思います。          研修についてあまり書かれてなく、作りっ放しなのかと思います。          事業者Aは品質管理の記述が少なかったので質問しようと思います。</p>
事務局	<p>変更がなければ合計点数は事業者Aが1728点、事業者Bが1274点で、事務局案は2社を一次審査通過とします。</p>
A委員	<p>一次審査通過事業者数は、前回選考委員会で原則上位2社程度としました。</p>

	今回一次審査通過事業者は資料2「一次審査集計結果」のとおりですが、いかがですか。
C委員	事業者Bの評価で合計201点というのがあり、450点満点の半分以下で次に行けるのか、気になります。
A委員	合格ラインは決めていないので、逆転の可能性があれば制限はないです。これまで他でもそうしてきました。
C委員	逆転の可能性があれば通過させるという合意ができればよいです。
全員	(了)
A委員	では2社とも一次審査通過事業者と決定してよろしいですか。
全員	(了)
	<b>【二次審査について】・・・審議事項(2)</b>
事務局	<二次審査について説明> 一次審査通過者に対する通知について、注意事項に事業者にデモンストレーション内容の案を記載したので、合わせて審議をお願いします。
A委員	1事業者3名までは、プレゼンの人数として少ないのではないのでしょうか。
B委員	場所の広さの問題なのか、それでも少ないかもしれないです。
D委員	その業務の担当者でない、プレゼンだけうまい人が来ては困るので人数を絞ることはあります。そういう意図かと思いました。
A委員	今まではもっと多かったが、その意図ならこのままでよいです。
事務局	業務と関係ない人がプレゼンだけ来るのは不可とします。
全員	(変更せず3名で了)
事務局	<二次審査の日時場所と実施方法を説明>
A委員	評価シートの「熱意」はどのように評価しますか、他の項目は客観的ですが。
事務局	質問への応え方など、伝わるもの、感じられるものでお願いします。
D委員	難しい質問にどう応じるか、あきらめずに答えるかを見ます。
B委員	取組姿勢、会社として意欲があるか、他でも見る項目です。

C委員	熱意というより意欲という表現が近いかもしれません。
A委員	ほかに質問はありますか。
B委員	一次の提案の内容で、追加の説明を求めるとか、事前に質問を伝えて準備させ答えさせるとかは可能ですか。
A委員	以前もやっています。
B委員	2社で差がないようにすればよいと思います。 見積書のうちライセンスの数について、事業者Aが51なのはどうしてなのかと思います。事業者Bは28です。両社を正しく比較するためにもライセンス数の考え方を確認したいです。
E委員	端末数が51なのでは。 学校は28だが規模が違うから端末の台数が違います。
事務局	ライセンス数は端末数分必要なのか次回までに分かるようにしておくよう、伝えます。
C委員	図書館が学校図書館の支援をするので、端末を増やすこともあるとすると、ライセンスが増えるときにどういった動きになるのか、ライセンスの考え方を両方に出してもらいたいです。 増やした場合の見積を提示してもらおうとよいかと思います。
A委員	節電対策強化期間に作業できないことの考慮が両社ともなかったようです。その期間にも作業する日程になっています。
D委員	節電対策強化期間は2週間学校を閉めて誰もいない状態になります。
事務局	入替作業でも絶対に入れないということでしょうか。
D委員	入れないです。
A委員	移行対象データが確認できないが、希望しているものがちゃんと対象になっているのか。そこが重要だと思います。エクセルシートで網羅されていますか。事務局に確認したいです。
B委員	事業者Bはデータ移行の見積が事業者Aの半額で心配です。
A委員	事務局にデータ移行のデータ形式を書くよう伝えたら、現業者が開示してくれなかったとのことでした。
B委員	事業者Bはデータ移行のノウハウがあるらしいです。

A委員	しかし検証の仕方が書いていないです。 事業者Bはイレギュラーが起こらない前提のようです。 図書館のシステムのデータは規格がないので皆特殊で、標準化できていないのです。
D委員	データ移行について詳しく聞くと予告しておいたらよいでしょう。 考え方とやりかたなど。
B委員	見積の中で、事業者Aはソフトウェア保守料がイニシャルの20%を超えておりちょっと高いと感じます。サポートデスクについては事業者Bが40万くらいに対して事業者Aは84万で手厚い感じがあります。
A委員	サポートデスクについては両社に何人月くらいのボリューム感か内訳を説明してもらいたいです。
全員	両社に保守費全般について説明をしてもらいましょう。
A委員	では事業者にあらかじめ通告する質問の内容ですが。
D委員	ライセンス数の考え方、節電対策期間の考え方、データ移行の考え方、保守費全般について、サポートデスクについても触れて説明してもらおうということによかったと思います。
全員	異議なし。
C委員	通告する質問の回答は事前にもらえますか、1日前でもよいですが。
A委員	事業者あて通知の内容を変えるのでしょうか、別に送るのでしょうか。
C委員	追加質問として別途送るのでよいのではないのでしょうか。
B委員	補足資料なので、事前に見られたら助かる、程度でよいです。
D委員	5月10日正午までに提出してもらおうのでよいのではないですか。
事務局	その日までにメールでもらい、各委員にすぐに送ります。
全員	(他に質疑なし)
	<b>【次回の日程について、その他】</b>
A委員	次回は二次審査です。以上で予定した案件の審議は終了しました。
	<b>【閉会】</b>